

有権者が投票しやすい条件づくりを！

新日本婦人の会熊本支部のみなさんと一緒に、選挙に関する要望を行いました

5月26日、「新日本婦人の会熊本支部」のみなさんと、熊本市選挙管理委員会に対し、「選挙に関する要望」を行いました。

この間行われてきた各種選挙の投票率はたいへん低くなっています。高齢化や政令市移行などで、投票に行きにくくなっています。すべての有権者が投票しやすい条件づくりをと、申し入れを行いました。

【要望事項】

- 1、市役所ですべての区の有権者が期日前投票できるようにすること
- 2、遠い区役所等へのシャトルバスの運行の検討
- 3、近くのスーパーなどでの投票ができるようにすること
- 4、投票用紙へ記入する鉛筆は、濃く見やすい「4B」に

来年春の県知事選から、

どの区の人でも市役所で投票できるよう検討中です

熊本市が政令市に移行したことで、各区に選挙管理委員会がおかれ、投票が区ごとになりました。特に期日前投票は、居住する区内の区役所・出張所に行かなければならなくなつたので、「投票に行きにくい」という声がたくさん出されていました。

今回の要望の中で、次回の県知事選（2016年春）では、どこの区の人でも市役所で投票できるように検討

中との回答がありました。

（仙台市・静岡市・福岡市では実施）

さっそく「4B」の鉛筆にします！

薄い鉛筆では書いた字が見えにくいことから、「4B」の鉛筆使用を要望しました。「在庫状況を見て、次の購入から4Bに」との回答でした。

前向き回答もありました。引続き条件の向上に努めてほしいものです。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか 山部洋史

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 950

2015年6月7日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



6月議会 山部洋史議員の一般質問



6月24日(水)午前10時から12時まで

市役所議会棟5階本会議場

*どなたでも傍聴できます。お誘いあわせで、おいでください。

*インターネットでの同時中継があります。

熊本市役所HP・「市議会・インターネット中継」でご覧になれます。

【質問内容】・国民健康保険

- ・子ども医療費助成制度の拡充
- ・少人数学級の拡充、小中学校へのエアコン設置
- ・市営住宅問題
- ・龍田出張所の拡充、旧北保健福祉センター業務拡充
- ・市民病院の建替え凍結問題
- ・桜町再開発・MICE整備
- ・住宅リフォーム助成

ほか

【控室から】

子どもの成長

上野 みえこ



「子どもの成長」といっても、「孫」の成長です。やがて3歳になる孫が、この春から幼稚園に入園しました。スモックを着て、黄色い帽子を被って通園しています。この頃は、お友達もでき、園に着くと「やあ！」と手を挙げて、親しそうにあいさつをするようになったそうです。あいさつひとつにも、子どもの成長がみえるようです。

そんな孫と、先日バス旅行にも行きました。バスの窓から見える景色・通る車にも大喜び。隣の席のお姉さんとすぐにお友達になりました。着いた先でも、川や池に泳ぐ魚に目を輝かせ、元気に走り回っていました。池に落ちないか、車にぶつからないか、私も追いかけるのに必死でした。でも、楽しい一日になりました。

同じ屋根の下に住んでいるので、孫の成長が身近に見えて、いつも元気をもらっています。

こんなかわいい孫を戦場に送らないためにも、「戦争法案」はきっぱり廃案にしなければなりません。国会審議も本格化しています。頑張っていきたいと思っています。

800人が入所待ち、急がれる待機児童・保留児童の解消

「待機児童ゼロ」にほど遠い深刻な実態

今年 4 月時点の待機児童数は 397 人です。待機児も含めた保留児童数は 801 人で、保育所に入所申し込みをしても、なかなか入れない深刻な状況が続いています。

「待機児童」定義見直しで、2015 年度の待機児童数は増えた形になりました。（今年度から、自宅外での求職活動をしている人・就労予定者も待機児童にカウントしています）

市は、定義見直しの数値で前年と比べると実際は減っていると説明しています。しかし、保育の必要性があり、入所申し込みをしても入所できていない「保留児童」の解消を図っていくべきであり、本市の保育所不足は深刻な状況です。

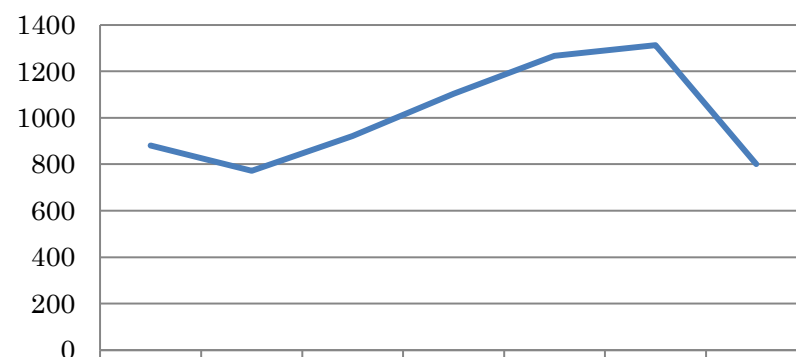


保留児童および待機児童数の年次推移

年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
保留児数	880	772	922	1103	1266	1312	801
内待機児数	7	1	1	119	180	319	397

* 2015 年度の見直しに合わせた待機児数 → 556 671

保留児数

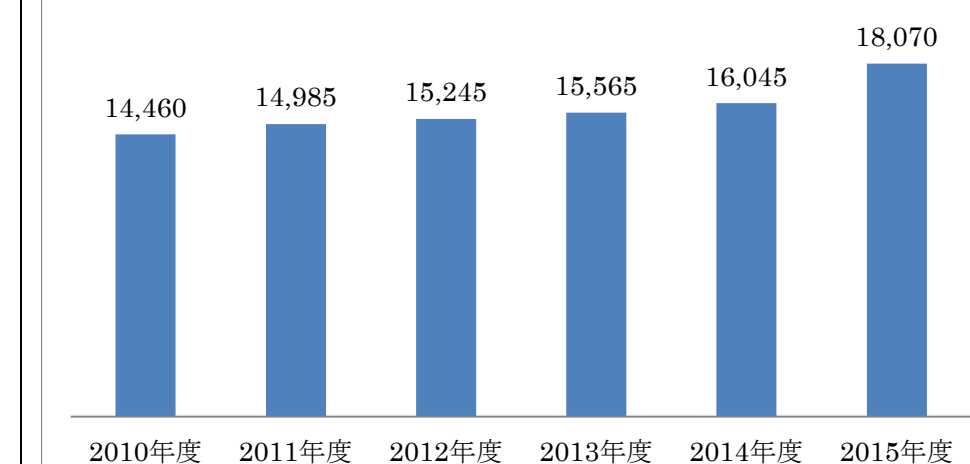


<待機児・保留児とは？>

保育の必要性があり、保育所に入所申し込みをしたが入所選考により入所できなかった児童を「保留児童」といいます。「保留児童」から、転園や特定の園を希望する方等を除いた児童を「待機児童」といいます。

保育需要に追いつかない保育所の定員増

定員数の年次推移



2014 年度から 2015 年度にかけて、熊本市の保育定員は 2025 人増えました。待機児童の定義見直しがあったとはいえ、待機児童・保留児童が解消されないのは、保育所整備が保育需要に追いついていないためです。

*2014 から 2015 年度への増加 2015

人の内訳は、

認定こども園	1213 人
施設整備	440 人
地域型保育	147 人
定員増ほか	225 人

保育所整備を抜本的にすすめるとともに、保育の質の確保が重要

市長は、5 月の記者会見の中で、「待機児童数は極めて深刻な数値であり、保育環境の非常事態であると強い危機感を持っている。早急に待機児童ゼロの実現を目指していく」と述べています。抜本的な保育所整備が必要です。

一方、新保育制度への移行の中で、施設整備・定員増に加え、認定こども園や地域型保育などによって定員増が図られています。今後、多様な形態による保育が行われることになるので、保育の質の確保も重要な課題となります。